



### 横瀬浦港と八の子島

イエズス会が大村純忠と協定を結んで開かれた港。1562年にはポルトガル船が入港し、教会堂を中心に港町として賑ったが、現在は公園として、八の子島の十字架とともに、往時をしのぶ観光スポットになっている



高島さんオススメのお店

### 雪浦パニーニ「秀一樓」

オーナーの和泉秀一郎さんが、2014年に雪浦の古民家を改装してオープンしたイタリアン・カフェ。地元の食材をばさんだ手作りのパニーニがオススメ。今年オープンしたポートホールン長崎にも支店がある  
西海市大瀬戸町雪浦下郷1303-2  
☎0959-22-2550



### 伊佐ノ浦公園

伊佐ノ浦ダム周辺の緑豊かな木々に囲まれた湖畔のリゾート。コテージやバンガローのほか、キャンプや釣り、サイクリングなども楽しめる  
西海市西海町中浦南郷1133-48  
☎0959-37-9511



### ゆきや

移住促進や地域活性化を目指して立ち上げたNPO法人「雪浦あんぱんね」の拠点。雪浦で生産された新鮮野菜や手芸品などを販売するおしゃれなカフェ。ヘルシー料理や地元の野菜を使ったランチがオススメ  
西海市大瀬戸町雪浦下郷1241  
☎0959-33-9463



NPO法人 音浴博物館 館長代行  
高島正和さん

北海道出身。2004年に西海市に移住し、2013年から館長代行を務める。「1950年代のスタジオモニターの一つ『ピクチャーオーディオラ』は、世界遺産級とたたえる人がいるほどの逸品です」



レコード針のパッケージやエルビス・プレスリーのレコードも貴重なコレクションの一つ。音浴博物館には全国から多くの人が見学に来る

### やすらぎ交流拠点施設 音浴博物館

西海市大瀬戸町雪浦河通郷342番地80  
☎0959-37-0222  
入館料◎一般 510円 小中学生 250円  
小学生未満 無料  
開館時間◎10時～18時(17時30分最終入館)  
休館日◎月曜日(ただし祝日の場合翌日)、年末年始



館内に入ると、蓄音機のマスコットで有名な犬のニッパ一君が出迎えてくれる。戦前の珍しいラジオや蓄音機、昭和時代のジュークボックスが所狭しと並んでいる



小学校の校舎だった建物は天井が高く、ゆったりとした空気が流れている。所蔵するレコードは全て館内で聴くことができる

# つたえらるけん 西海市 Saikai city

「西海」の森の中にある音の博物館。目を閉じて、思い出の曲を心と体で浴びると、時がたつのを忘れてしまいそうです



エジソンが発明した蝸管式蓄音機

## 移住のきっかけは 西海市の自然の美しさ

西海市大瀬戸町の静かな森の中に立つ音浴博物館。レコード約16万枚を所蔵し、エジソンが発明した蝸管式蓄音機をはじめ、年代物のスピーカーで昔懐かしいアナログの響きを体感することができます。この施設の案内人の一人で館長代行も務める高島正和さんが、流れるような口調で館内の隅々まで説明してくれました。貴重な音響機器を使つての音の聴き比べの説明には、特に力が入ります。

「目を閉じて聴くと、皮膚から音楽が入ってくるのがわかるでしょう。これがサウンドシャワーです。全身で音を浴びる体験ができる場所が、ここ音浴博物館なんです」。

今では身も心もすっかり西海市の人ですが、実は高島さんの出身は北海道。地元で炭鉱関連の仕事に就いていましたが、2004年の炭鉱閉山を機に、第二の人生を送る場として西海市に移住しました。「国内のいろんな所を見て回る中で西海市にも視察に来たのですが、伊佐ノ浦公園を上から見た時、すごくきれいで感動しました。ここは故郷の阿寒国立公園に負けない！このまちになら住めるかもと思ったのが移住のきっかけです」。

最初の1年間は伊佐ノ浦公園の管理棟に住み、地元の観光協会に勤務。「実際に住み始めると、西海市の良さをさらに実感しました。五島灘の荒海と大村湾の内海、森林の緑、助け合って生きている人々の姿、そのどれもが美しいと思いました」。

移住した当初は、北海道との気温差に慣れず熱中症になりかけたり、甘い醤油にとまどったりしたことも、今では懐かしい思い出そうです。また、「さいかいガイドの会」にも所属している高島さんは、横瀬浦地区も好きな場所のひとつだそうで、「横瀬浦は日本初のキリシタン大名誕生の地であり、長崎よりも先に貿易港として栄えたので、上町、丸山、思案橋など長崎にある地名が残っています。横瀬浦が長崎の原点だと思うとロマンを感じます」と地区の歴史にも詳しくなりました。

「さいかい元氣村」の事務局長なども務めているという高島さん。元氣の源を尋ねると「音浴だと思えます。来館した方が感動して帰ってくることは自分にとってもううれしいこと。来館した皆さんの入館時の顔と帰る時の顔が全然違うんです。それを見るのが最高の幸せです」。

移住して12年、軽快に流れる高島さんの第二の人生の交響曲は、今日も西海市の森の中に響いています。

右記写真にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見られます！  
※BGMには、大島ミチルさん作曲「Nagasaki Green&Blue」を使用しています。

**step1**  
まずは無料のARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロードしましょう  
App Store  
Google Play Store  
COCOAR2 検索  
iOS向け「App Store」またはAndroid向け「Google Play Store」から「COCOAR2」を検索。無料のARアプリ「COCOAR2」(ココアル2)をダウンロードして、対応する端末にインストールしてください。(「P」に「2」がついているアイコンが目印です)  
※一部対応していない機種もあります

**step2**  
「COCOAR2」を起動し、上記写真をスマホやタブレット端末にダウンロードしましょう。画像を感知すると、自動で動画が再生されます。読み込んだあとは、端末をかざしていなくても見ることができます

「よかテレ」でもチェック！  
**Present!**  
「音浴博物館 ペア招待券」  
P15の読者プレゼントの応募方法で、動画の中に出てくるキーワードを書いて応募ください。抽選で5名様にプレゼントします